

第3期・第4期事業計画期間に実施した 整備事業について（平成18～22年度）

＝ 平成23年度 第1回 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 資料＝

平成23年5月26日

健康福祉部 長寿支援課・介護保険課

久留米市の取り組み

久留米市では、第3期・第4期の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画において、介護サービス（施設サービス・地域密着型サービス）の基盤整備、サービス利用者の安全確保、相談機会・窓口の充実、地域における自主的な介護予防の推進などを掲げ、下記の事業を行ってきた。

1. 小規模特別養護老人ホームの整備
2. 小規模多機能型居宅介護事業所の整備
3. 認知症対応型デイサービス事業所の整備
4. 東部地域高齢者ケアステーションの整備
5. グループホーム等のスプリンクラー等の整備
6. 夜間対応型訪問介護事業所の整備
7. 小規模多機能型居宅介護のPR
8. 健康（介護予防）遊具の整備
9. 共生型サービス事業の整備

1. 小規模特別養護老人ホームの整備

| 事業内容 | <p>計画で定めた小規模特別養護老人ホームの整備を促進するため、定員が29床（人）以下の小規模特別養護老人ホームを整備する事業者に対して補助金を交付。※ 補助単価は年度により異なるが、平成22年度は施設整備：3,500千円/床、開設準備：600千円/床。</p> | | | | | | | | | | | | | |
|------|--|---------|-----------|------|-----|--|---------|--|----|------|-------|------|-------|------|
| 実施年度 | 平成18・20・22年度 | 整備数 | 5施設（120床） | | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 346,631千円 | | | | | | | | | | | | | |
| 事後評価 | <p>第3期に2施設：40床、第4期に3施設：80床、合計120床の小規模特別養護老人ホーム（ユニット型個室）の整備に対して補助金を交付した。 整備数は、第3期、第4期での整備計画を達成している。</p> <p>参考までに、旧参酌標準（廃止）ベースで算出した数値は40.5%（国の標準37%）となっており、この補助事業によって、久留米市の施設整備は一定の水準に達していると考えられる。（2月給付実績に新設分80床を加味）</p> <p>ただし、特別養護老人ホームの個室ユニット化については、国の参酌標準の70%に対して久留米市では38.9%であり、 今後のユニット化には利用者及び 事業者の意向を反映した上での既存 施設の改修も含めた検討が必要である。</p> <table border="1" data-bbox="1272 1273 1935 1426"> <caption>特別養護老人ホームの整備状況（H23.4）</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">多床室</th> <th colspan="2">ユニット型個室</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>440床</td> <td>61.1%</td> <td>280床</td> <td>38.9%</td> <td>720床</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 多床室 | | ユニット型個室 | | 合計 | 440床 | 61.1% | 280床 | 38.9% | 720床 |
| 多床室 | | ユニット型個室 | | 合計 | | | | | | | | | | |
| 440床 | 61.1% | 280床 | 38.9% | 720床 | | | | | | | | | | |

【資料】久留米市内の特別養護老人ホーム

外観



リビング



地域交流スペース



居室からリビングを望む

【資料】久留米市内の特別養護老人ホーム

| | 名称 | 所在地 | 多床室 | ユニット型 | 合計 |
|-------|----------------------|--------------------|------|-------|------|
| | 特別養護老人ホーム 山翠園 | 久留米市山本町耳納2005番地 | 50床 | | 50床 |
| | 特別養護老人ホーム 光寿苑 | 久留米市宮ノ陣町大杜467番地1 | 50床 | | 50床 |
| | 特別養護老人ホーム 唐孔雀園 | 久留米市青峰三丁目12番1号 | 80床 | | 80床 |
| | 特別養護老人ホーム 長生園 | 久留米市荒木町下荒木1250番地2 | 80床 | | 80床 |
| | 特別養護老人ホーム ひじり園 | 久留米市田主丸町石垣1291番地6 | 80床 | | 80床 |
| | 特別養護老人ホーム ふれあいの園 | 久留米市山本町豊田1567番地1 | 50床 | | 50床 |
| | 特別養護老人ホーム 宝生園 | 久留米市北野町鳥巢36番地1 | 50床 | 20床 | 70床 |
| | 特別養護老人ホーム みづま敬和苑 | 久留米市三潞町西牟田6128番地1 | | 40床 | 40床 |
| | 特別養護老人ホーム 紅葉樹 | 久留米市山本町豊田1567番地1 | | 80床 | 80床 |
| 第3期新設 | 特別養護老人ホーム 桜花台園 | 久留米市高良内町3919番地7 | | 20床 | 20床 |
| | マ・メゾン湯乃坂 介護老人福祉施設事業部 | 久留米市野中町1198番地1 | | 20床 | 20床 |
| | 特別養護老人ホーム 共生の里津福 | 久留米市荒木町白口552番地3 | | 20床 | 20床 |
| 第4期新設 | 特別養護老人ホーム 第2ひじり園 | 久留米市善導寺町飯田1393番地11 | | 29床 | 29床 |
| | 特別養護老人ホーム 銀の庵 | 久留米市北野町十郎丸1529番地2 | | 22床 | 22床 |
| | 特別養護老人ホーム 光の杜 | 久留米市宮ノ陣町大杜460番地1 | | 29床 | 29床 |
| | | | 440床 | 280床 | 720床 |

2. 小規模多機能型居宅介護事業所の整備

| | | | |
|------|---|-----|-------|
| 事業内容 | <p>小規模多機能型居宅介護事業所の整備を促進するため、整備事業者に対し、工事費、工事請負費、工事事務費を対象とした補助金を交付。</p> <p>※1事業所あたり15,000千円を上限。</p> | | |
| 実施年度 | 平成18年度 | 整備数 | 12事業所 |
| 事業費 | 144,070千円 | | |
| 事後評価 | <p>小規模多機能型居宅介護は、「通い（デイサービス）」を中心として、利用者の状態や希望に応じて、「訪問（訪問介護）」や「泊まり（ショートステイ）」を組み合わせたサービスであり、中重度となっても地域・在宅での生活が継続できるように支援でき、同じスタッフによる連続性のあるケアが提供されるという利点がある。</p> <p>平成23年4月1日現在、市内に24ヶ所の事業所があり（各日常生活圏域に1事業所以上整備）、第1号被保険者数1,000人あたりの事業所数は0.27（全国の約4倍）である。（平成21年介護サービス施設・事業所調査）</p> <p>このように、サービス創設当初に補助金を交付したことにより、計画に掲げた、介護サービス基盤の整備を促進することができたと考える。</p> | | |

【資料】久留米市内の小規模多機能型居宅介護

| 名称 | 所在地 | 登録定員 |
|---------------------------|----------------------------|------|
| 銀の庵・上旗(小規模多機能型居宅介護) | 久留米市御井町1595番地5 | 25人 |
| JAくるめ ドゥ・ファミリー ひかり 24 | 久留米市東和町4番地2 | 25人 |
| デュオ久留米 荒木館 | 久留米市荒木町荒木1516番地1 | 25人 |
| 小規模多機能事業所 ひだまり | 久留米市六ツ門町11番地42 アンピール六ツ門 1F | 25人 |
| 大園つつじ苑 | 久留米市野中町771番地1 | 25人 |
| 小規模多機能居宅事業 桜花台園 | 久留米市高良内町3919番地7 | 25人 |
| くるめ銀杏の杜 | 久留米市北野町八重亀608番地1 | 12人 |
| みなみの家 | 久留米市南2丁目27番17号 | 25人 |
| 小規模多機能ホームくましろ八重亀館 | 久留米市北野町八重亀567番地 | 25人 |
| いちごの里 小規模多機能型居宅介護 輝き七番館 | 久留米市花畑2丁目10番2 | 25人 |
| 小規模多機能型ホーム みどりのうた | 久留米市東櫛原町1647番地6 | 25人 |
| ふれあいの園みづま館 小規模多機能型居宅介護事業所 | 久留米市三漕町早津崎3118番地17 | 25人 |
| 小規模多機能ケア 悠ホーム | 久留米市安武町安武本2927番地5 | 25人 |
| ひまわりの郷 田主丸 | 久留米市田主丸町豊城1668番地2 | 25人 |
| アップルハートのやわらぎ久留米 | 久留米市国分町824番地9 | 25人 |
| むつみ 小規模多機能型居宅介護施設 | 久留米市山本町豊田1696番地 | 25人 |
| 小規模多機能型居宅介護 さくら | 久留米市御井旗崎3丁目5番21号 | 25人 |
| マ・メゾン湯乃坂 小規模多機能型居宅介護事業部 | 久留米市野中町1198番地1 | 20人 |
| 小規模多機能型居宅介護 ころろ式番館 | 久留米市城島町下青木1257番地1 | 25人 |
| 小規模多機能ホームくましろ | 久留米市北野町八重亀412番地 | 24人 |
| JAくるめ ドゥ・ファミリー とりかい 24 | 久留米市梅満町911番地5 | 25人 |
| 小規模多機能ホームくましろ式番館 | 久留米市北野町石崎162番地1 | 25人 |
| 小規模多機能型居宅介護事業所 共生の里津福 | 久留米市荒木町白口552番地3 | 18人 |
| 小規模多機能型居宅介護事業所 じゅうれん | 久留米市三漕町西牟田6557番地30 | 25人 |
| | | 574人 |

3. 認知症対応型デイサービス事業所の整備

| | | | |
|------|--|-----|------|
| 事業内容 | <p>認知症対応型デイサービスの整備を促進するため、整備事業者に対して、工事費、工事請負費、工事事務費を対象とした補助金を交付。 ※1事業所あたり10,000千円を上限。</p> | | |
| 実施年度 | 平成18年度 | 整備数 | 4事業所 |
| 事業費 | 40,000千円 | | |
| 事後評価 | <p>認知症対応型デイサービスは、脳血管疾患、アルツハイマー病等により認知機能が低下し日常生活に支障が生じている要介護者・要支援者に対して入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練を提供するサービスであり、認知症高齢者の暮らしを支えるものである。</p> <p>平成23年4月1日現在、市内に5ヶ所の事業所（単独型）があり、第1号被保険者数1,000人あたりの事業所数は0.12（全国と同水準）である。（平成21年介護サービス施設・事業所調査）</p> <p>このように、サービス創設当初に補助金を交付したことにより、計画に掲げた、介護サービス基盤の整備を促進することができたと考える。</p> | | |

4. 東部地域高齢者ケアステーションの整備

| | | | |
|------|--|-----|-----|
| 事業内容 | 旧自然休養村管理センター（山本町）の施設を改修し、東地域包括支援センター（善導寺町より移転）、高齢者の介護予防拠点（新設）、認定調査東部事務所（新設）を併設した「東部地域高齢者ケアステーション」を整備。 | | |
| 実施年度 | 平成20年度 | 整備数 | 1ヶ所 |
| 事業費 | 20,732千円 | | |
| 事後評価 | <p>介護予防拠点については、2階ホールを改修し、東部地域での介護予防拠点を確保することができ、介護予防教室や研修会、認知症予防講演会等を実施した。</p> <p>今後も、この拠点を活用し、市民を対象とした介護予防・認知症に関する普及啓発事業を実施する予定。</p> <p>また、地域包括支援センターについては、移転により事務スペースの不足の問題を解消し、相談室などを設置して相談体制の充実を図ることができた。</p> <p>以上、相談機会・窓口の充実、地域における自主的な介護予防の推進など、計画の内容に沿った整備を行うことができたと考える。</p> | | |

5. 小規模福祉施設のスプリンクラー等の整備

| | | | |
|------|---|-----|-------|
| 事業内容 | <p>グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所などの小規模福祉施設のスプリンクラー等の整備を促進するため、整備事業者に対し、工事費、工事請負費、工事事務費を対象とした補助金を交付。</p> <p>※ 1㎡あたり9,000円を上限。</p> | | |
| 実施年度 | 平成21・22年度 | 整備数 | 51事業所 |
| 事業費 | 227,111千円 | | |
| 事後評価 | <p>市から事業者に対して補助金の活用について積極的な働きかけを行い、この補助事業により、市内の47ヶ所のグループホームのうち、移転予定の1事業所以外の45事業所にスプリンクラーが整備され（1事業所は自費整備）、自動火災報知設備・消防機関へ通報する火災報知設備も整備された。</p> <p>また、275㎡以上で重度者の泊まり利用が多い4ヶ所の小規模多機能型居宅介護事業所にもスプリンクラーが整備された。</p> <p>このように、比較的資金力が弱い小規模福祉施設において消防設備の整備が進んだことはこの事業の成果であり、計画に掲げられた利用者の安全の確保に取り組むことができたと考える。</p> | | |

6. 夜間対応型訪問介護事業所の整備

| | | | |
|------|--|-----|------|
| 事業内容 | <p>夜間対応型訪問介護事業所の整備を促進するため、整備事業者に対して、需用費、使用料、賃借料、備品購入費などを対象とした補助金を交付。 ※1事業所あたり30,000千円を上限。</p> | | |
| 実施年度 | 平成18年度 | 整備数 | 1事業所 |
| 事業費 | 30,000千円 | | |
| 事後評価 | <p>夜間対応型訪問介護は、中重度の要介護状態となっても在宅生活が継続できるよう、夜間に定期的に各自宅を巡回して行う訪問介護に加え、利用者の求めに応じて随時対応する訪問介護を組み合わせたサービスである。</p> <p>市では、このサービスを中重度要介護者の地域での暮らしをささえるものとして位置づけて整備を推進したが、ニーズの読み違いや利用者負担の問題などから利用者数が低迷し、現在休業中である。</p> <p>第5期に、医療と介護を連携させて創設される予定の「24時間地域巡回型訪問サービス」への移行なども視野に入れた再検討が必要である。</p> | | |

7. 小規模多機能型居宅介護のPR事業

| | | | |
|------|--|-----|-------|
| 事業内容 | <p>小規模多機能型居宅介護等へ利用者の円滑な移行を促進するため、事業者に対して、ケアマネジャーとの連携協力体制構築やPR費用等を対象とした補助金を交付。</p> <p>※1日常生活圏域あたり3,000千円を上限。</p> | | |
| 実施年度 | 平成18年度 | 整備数 | 17事業所 |
| 事業費 | 33,000千円 | | |
| 事後評価 | <p>※ 「2. 小規模多機能型居宅介護事業所の整備」の再掲。</p> <p>小規模多機能型居宅介護は、「通い（デイサービス）」を中心として、利用者の状態や希望に応じて、「訪問（訪問介護）」や「泊まり（ショートステイ）」を組み合わせたサービスであり、中重度となっても地域・在宅での生活が継続できるように支援でき、同じスタッフによる連続性のあるケアが提供されるという利点がある。</p> <p>平成23年4月1日現在、市内に24ヶ所の事業所があり（各日常生活圏域に1事業所以上整備）、第1号被保険者数1,000人あたりの事業所数は0.27（全国の約4倍）である。（平成21年介護サービス施設・事業所調査）</p> <p>このように、サービス創設当初に補助金を交付したことにより、計画に掲げた、介護サービス基盤の整備を促進することができたと考えられる。</p> | | |

8. 健康（介護予防）遊具の整備

| | | | |
|--------------|---|------------|-----------------|
| <p>事業内容</p> | <p>高齢者の居宅における自立生活を支援するため、運動機能の向上のために高齢者がいつでも手軽に自由に利用できる「健康（介護予防）遊具」を、市内の公園に設置。</p> <p>※ 1日常生活圏域あたり3,000千円を上限。</p> | | |
| <p>実施年度</p> | <p>平成21・22年度</p> | <p>整備数</p> | <p>7箇所（23基）</p> |
| <p>整備事業費</p> | <p>18,585千円</p> | | |
| <p>事後評価</p> | <p>計画に掲げた、地域における自主的な介護予防の推進のため、いつでも手軽に利用できる健康遊具を利用できるよう、住宅地に近接した公園などに健康遊具を設置した。</p> <p>健康遊具については、自主的な利用の促進と介護予防への活用がポイントであり、すこやか推進会への利用指導（H23.3・30人）、長寿支援課の窓口でのチラシ配布、ホームページへの掲載、出前講座でのアンケート実施（9回・347人）等、普及啓発に努めている。</p> <p>なお、平成23年度も3箇所に設置予定であり、国と補助協議中。</p> | | |

【資料】設置した健康遊具の例

わき腹伸ばし



背伸ばしベンチ



スロープ



ステップ



9. 共生型サービス事業の整備

| | | | |
|------|--|-----|------|
| 事業内容 | <p>利用者、地域の高齢者、障害者、子どもなどのふれあいを通じた交流を促進する共生型サービスの拠点を整備する介護事業者に対し、需用費、備品購入費などを対象とした補助金を交付。</p> <p>※ 1日常生活圏域あたり3,000千円を上限。</p> | | |
| 実施年度 | 平成21・22年度 | 整備数 | 6事業所 |
| 事業費 | 9,399千円 | | |
| 事後評価 | <p>計画に掲げた、介護基盤の整備の一環として共生型サービスの整備を進めるために、平成21・22年度に7つの日常生活圏域で補助事業者を募集し、6事業所に補助金を交付した。</p> <p>事業内容は、交流サロン整備が3事業所、交流事業が3事業者であり、立ち上げから間もないため試行錯誤の状態ではあるが、事業立ち上げにあたって地域に入り込んでいったことなどにより既に一定の効果があがっている。</p> <p>今後は事業継続や充実のため、事業の推移を把握するとともに、広報や地域及び事業者同士の連携、情報交換のコーディネートなどの支援に取り組む必要がある。</p> <p>なお、平成23年度も4圏域において補助事業を実施予定で国と協議中。</p> | | |

【資料】 共生型サービス事業の内容

| 事業所名 | 小規模多機能事業所 ひだまり | みなみの家 | デイサービス 和みや | 指定通所介護事業所 ふじの郷 | グループホーム さくら館 | グループホーム いちょうの杜三瀧 |
|------------|--|---|---|--|--|--|
| 事業名 | ほとめきサロン | いきいき南交流会 | 地域交流サロン和みや | ふじのさと | 田主丸地域交流の会 | みんなサロン |
| 圏域 | B圏域 | C圏域 | F圏域 | D圏域 | H圏域 | I圏域 |
| 校区 | 日吉校区 | 南校区 | 高良内校区 | 京町校区 | 田主丸校区 | 犬塚校区 |
| 内容 | 商店街のスペースを活用して世代や状況を問わない地域交流事業・コミュニケーション事業を実施し、また、子育て支援のため若い母親の悩み相談会等を実施する「ほとめきサロン」の立ち上げ。 | 利用者の書や絵画、手芸などの作品や園児のぬり絵の展示、もちつき、バザー、折り紙教室、また、職員や女性の会、利用者が作った料理をふるまうなどする「いきいき南交流会」の立ち上げ。 | 利用者と地域住民がともに楽しみ、穏やかに和む「地域交流サロン」として音楽会、手作り、園芸、絵画教室、健康づくり教室、介護予防教室などを実施する「地域交流サロン和みや」の立ち上げ。 | 利用者や地域住民を対象として、バザー、介護講座やワークショップ、ふれあいコンサートなどを行う「ふれあいサロンふじのさと」の立ち上げ。 | 利用者や地域住民を対象として、フリーマーケット、節分、夏祭り、芋掘大会、ひな祭りなどを行う「田主丸地域交流の会」事業の立ち上げ。 | 利用者や地域住民を対象とした「保健師による健康教室」、「学習療法士による脳健康教室」、「利用者による昔話や読み聞かせの会」などを行う「みんなサロン」の立ち上げ。 |
| 補助額 (円) | 3,000,000 | 819,000 | 2,306,000 | 727,000 | 1,035,000 | 1,586,000 |